



2012.6.10 初聖体

「信仰年」

主任司祭 B・ノヴァク



教皇ベネディクト16世が使徒的書簡「ポルタ・フィデイ(信仰の門)」の中で宣言した通りに、第2バチカン公会議開幕(1962年)から50周年、「カトリック教会のカテキズム」発行(1992年)から20年にあたる今年の10月に「信仰年」が開幕します。

「信仰年」は、特に、様々な現状におかれて主イエスに従って生きている多くの信者の信仰を支えることを目的としています。また、「信仰年」は、あらゆる権威から個人の独立を求める一種の世俗主義によって人々が「神が存在しないかのように生きる」信仰の危機の時代にあつて、神への郷愁をもって生活し、神との新しい出会いを望む人々のためのものです。

教皇は「この年がすべての信徒に、新たな確信と信頼、希望のもとに信仰を完全に『宣言』し、典礼を通して信仰を熱心に『祝い』、同時にそれを生活の中で『証し』するよう促すこと」を目標として定めています。

南山教会として私たちも、この「信仰年」を有意義に過ごし、教皇が定めた目標を果たすために、私たちにできることについて考え、その実行に取り組みたいと思います。

平日のミサ時刻:

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝: 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻:

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

初聖体感想文

ペトロ 藤田 匠

きょう会に行くのがすこしうれしくなってきました。

けっこうどきどきしたけどうまくいきました。はないきでろうそくの火がきえてしまいました。

何ともさいだんの前にならびました。一ばん前のいちばん中がわのせきでした。

かみさまに「ありがとうございます」と思っています。

「ごせいたいをうけてうれい

「はじめての「ごせいたい」

マリア・ファウスチナ 平田 柑菜

6月10日にはじめてごせい体をいただくことができました。

はつせ

い体をむかえる前にイエスさまに

いて色々おべん

きょうをしまし

た。教会学

校で、し

んぷさま

からイエ



スさまがわたしたち人げんのため何をしてくださったか知りませんでした。ご自分の体をあたえてくださるほど、わたしたちをあいつくださっています。

じぶんの行ないをふりかえると、学校の友だちとけんかをしてしまったり、いもうとにすこしいじわるをしてしまうことがあります。

これからは、いつもイエスさまがわたしの心と体の中にいらつしやるので、わるいことにまけないつよい心をもちつつづけていきたいと思えます。

たくさんの人にお世話になつて、はつせい体をうけることができました。どうもありがとうございます。

はじめての「ごせいたい」

モーセ 榊原 啓希

ぼくは、はじめてごせい体をもらうとき、おいのりしたりアメンを言いつづけて、かみさまにたくさんのおいのりをしてもらって、まだ小さいとき教会でいつも手をあわせていたけど二年生になってから、ごせい体をもらうことができました。

ぼくは、かみさまにたくさんのおいのり、かぞく、とてもか

して、いのち、かぞく、とてもか

して、いのち、かぞく、とてもか

して、いのち、かぞく、とてもか

して、いのち、かぞく、とてもか

して、いのち、かぞく、とてもか

して、いのち、かぞく、とてもか

して、いのち、かぞく、とてもか

みさまにかんしゃして、そして、お世話になった人にもかんしゃしてありがとうございますと思えます。

初聖体

カタリナ 原田 美折

初聖体がありました。わたしがご聖体をいただくために、一番がんばったのは、お祈りとおべん強です。お祈りは、食前、食後、ね

る前をがんばりました。おべん強は、日曜学校で、しん父様に、か

み様のことや、イエス様のことをいろいろ教えていただきました。

りハールでは、こっかいベやでこっかいをしました。心がきれい

になってよかったです。

本番では、いろんな人の前に立つと、とてもきんちようしました。

その時に、一番よかったことや、心

にのこったことは、しん父さまにお祈りのカードをわたせたこと

です。心にのこったことは、初聖体をうけることができました。

イエス様を、心にむかえることができ

ました。その後のパーティーで、一人友だちができました。

イエス様のおかげで、友だちができたんだと思います。だから、その友だちを大切にしたいと思

います。これからも、お祈りとおべん強をがんばりたいと思いま

す。

はつせいたいをうけて

Engene Paraic

伊東 優人

ぼくは、きょうかい学校で、きょうかいをかきました。たのしかったです。

はつせいたいを日曜日にうけました。ごせいたいがおいしかった

です。ぼくは、はじめからものすごいきんちようしました。おわた

たら、きんちようがなくなりまし

た。それから、ごせいいたいを50こ

はつせい体をうけて

レオ ダンジエロ 玲央

ぼくは、はつせい体をうけるために、教会学校で、イエスさまの

ことをたくさんべんきようしました。なので、はつせい体をう

けるじゅんびができたのだと思います。しんぷさまやリーダーにか

んしゃしたいです。

ぼくは、はつせい体と一しよになり、神さまに見まもられている

と思えました。

さいごに、たくさんの人たちから手

をいただきました。とてもうれしくなりました。これからも、まい日おいのりをして、かみさま

に見まもってもらえるようにがんばります。



YEAR OF FAITH 2012 2013

Pontifical Council for Promoting the New Evangelization



YEAR OF FAITH 2012
2013

「信仰年」のシンボルマークの解説

- 四角形で示される区画の中で、教会を象徴する船が波の上を進む。
- 船のメインマストの十字架とともに、3つの帆が、キリストを表す3文字（IHS）をかたどる。
- 帆の背景の太陽は、IHSの3文字とともに聖体を示す。

「「信仰年」がすべての信者のうちに、完全かつ新たな確信と、信頼と希望をもって信仰を「告白」したいという望みを呼び起こしますように。「信仰年」は、信仰を典礼の中で、とくに感謝の祭儀の中で深く「記念」するためのよい機会ともなります。感謝の祭儀は「教会の活動が目指す頂点であり、同時に教会のあらゆる力が流れ出る源泉」だからです。同時にわたしたちは、信者の生活の「あかし」がますます信頼の置けるものとなることを祈ります。わたしたちが告白し、記念し、生き、祈る信仰の内容を再発見し、信じることについて考察することは、とくに「信仰年」の間、すべての信者が自分のものとしなければならない務めです。」（教皇ベネディクト16世、使徒的書簡「ポルタ・フィデイ」9）

中高生会親子交流会

今年も六月十六日（土）に中高生親子交流会を八事聖霊修道院と聖霊幼稚園で行いました。中高生親子約四十名の参加者がありました。その他アントニー神父様とニコ神父様、聖霊会のシスターで、全部で五十名ほどになりました。

初めに聖堂で、ご聖体の前で祈りを捧げました。前日がイエスのみ心の祭日だったので、イエスのみ心の愛に感謝しながら三十分祈りの時を過ごしました。その後、あいにくの雨でしたが、幼稚園の園舎のひさしの下で、バーベキューをしました。昨年とはちょうど雨間で幼稚園のグラウンドでできましたが、今年は雨が止むことはありませんでした。しかし、ひさしの下でも楽しく過ごすことができました。最後に幼稚園のホールで、皆で巡礼の行列をして、マリア様に祈り

梅村祥子

の歌を捧げ、交流会を終了しました。雨など気にならないほど良いときを過ごすことができました。準備の段階からバーベキューの時、最後の片付けまで、いろいろな形で参加、協力してくださった参加者の皆さんありがとうございました。



心の傷の癒しとゆるし

(その13)



6・6 第5段階・受容

B・ノヴァク神父

自分の問題を理解することは大事ですが、憂うつから脱出するためには十分ではありません。傷付いた心が癒されるために必要なのは、たとえゆるしていたり、無条件の愛を体験することです。ですから、私たちは絶えず、私たちに愛して下さっている神と神の愛をもっと深く知るように、必要に応じて、自分の信仰の内容、特に自分の神のイメージを直すように、つまりこのイメージは、イエス・キリストが啓示してくださった神に近づくように努力する必要があります。もちろん同時に、人間関係を正しくするように努めることも大事です。神の愛と他の人々の助けを受けることによって、人は自分自身をゆるし始め、犯した過ちを直すように働き始めます。そして、それによって最

後の段階、つまり受容の段階に近づくのです。神が常に私たちに与えようとしてくださっている無条件のゆるしを受けてはじめて、同じ無条件のゆるしを自分の加害者に与えることができ

受容の段階に辿る人は、元々自分を傷付けた苦しい体験が何の問題もないと言えるようになります。確かに、この体験の直後の拒否の段階にも同じように言っていました。今の言葉や苦しい体験の記憶に全く違う感情や行動が伴います。拒否の段階において傷を負わされた人は、自分の苦しみや不安を隠すために、本当の問題から逃げ、気にするほどのことは何も起こらなかつたと自分を説得し、対して正しい態度をとることができて、実際にそれによってこの人に対する自分の怒りを隠していただけです。同時に、この怒りによって支配されて、他の人や自分自身に対して正しく

ない態度をとったり、他人を批判したり、悪口を言ったり、不満や不平などを言い表したりしました。受容の段階において、心の傷を表すこのような徴候がなくなりません。そして、苦しい体験から生じた善やこの体験によって促された自分の成長を、はつきりと見て、傷付いた時にはこのような結果になると全然想像もできなかったその善や成長のために自分の心が感謝の気持ちで溢れます。結果的に、苦しい体験が祝福になったということを認めますので、その体験自体とそれに関して起こったことを感謝するようになります。不正などによる苦しい体験が、良い結果をもたらしても、そのよ

うな善のために神が「苦しい恵み」とか、「十字架」や「試練」として与えてくださったものであると考えるのは、間違いです。なぜなら、神は悪から善を引き出すことができず、善を引出すことができません。何らかの善のために悪を求めたり、悪を行ったりすることは、絶対にはいけません。悪から善が生じて、つまり神は悪を善に変えることがあっても、悪そ

6・6・1 心の癒しへの他の結果

この感謝の念や平安とか喜び以外に、傷付けられた心の癒しは、次のような結果をもたらすことがあります。癒された人が体験した不正は、どれほど大きな苦しみをもたらさかということを実感しましたので、同じ不正を行うことによって他の人を傷付けられないように注意するようになる、つまり他の人に対して優しくなるということです。

た、憂うつな段階で自分の過ちは、良い結果よりも悪い結果をす。けれども、今の癒しは、部分的なものであっても、無意味なものであるわけではありませぬ。なげなら、この部分的な癒しは、昔の傷の癒しを可能にすることがあるからです。現在の傷の癒しの過程は、一応終わったところでは、それが完全なものではないことについて悩むのではなく、癒すことが可能になった昔の傷を扱えばよいのです。そして、この傷が、癒された後に、部分的に癒された傷に戻ればよいわけです。このように、一つの傷だけではなく、すべての傷を癒やすことによって、心の完全な癒しに向かって歩むことができるのです。

癒された人にとって、自分の加害者をゆるすことは、ごく自然なことになりますし、加害者と和解したいという望みも生じます。この望みが強くても、無理してもそれを実行しないように注意する必要があります。と

6・6・2 癒し過程の続き

いうのは、癒された人は、和解するために心の準備ができて、加害者はまだ心の準備ができていない可能性があります。その場合、和解するための努力

す。けれども、今の癒しは、部分的なものであっても、無意味なものであるわけではありませぬ。なげなら、この部分的な癒しは、昔の傷の癒しを可能にすることがあるからです。現在の傷の癒しの過程は、一応終わったところでは、それが完全なものではないことについて悩むのではなく、癒すことが可能になった昔の傷を扱えばよいのです。そして、この傷が、癒された後に、部分的に癒された傷に戻ればよいわけです。このように、一つの傷だけではなく、すべての傷を癒やすことによって、心の完全な癒しに向かって歩むことができるのです。

心の癒しが部分的なものであったゆえに、自分の努力が無駄であったと考えることは心の癒しの完成を妨げるように、部分的な癒しを体験しても、自分が完全に癒されたと考えることが、より深い癒しを妨げます。なぜなら、自分の心がもう完全に癒されていると決めつける人は、残った傷の手当をしないからです。

以上紹介した心の傷の癒し過程の五つの段階は、概要に過ぎないものです。そして、概要として、複雑な現実を単純化するの癒しは、それと違う道を進むはずですので、この概要をマニュアルとして読まないよう注意しましょう。なぜなら、これをマニュアルとして読む人は、ここで書いたものと自分の体験が異なっていることに気づき、自分の傷の手当を諦めてしまふ恐れがあるからです。真のゆるしがどんなものであるかということや、傷付けられた心の癒しの概要を紹介したのは、癒しを不可能にする過ちを避けるため、また、自分の心の実際の癒しの過程に協力し、それを促すことができるようになるためなのです。一人ひとり、この概要を自分の現状に合わせて、適用化する必要があるのです。次回、傷つけられた心を手当するために具体的な「道具」として「苦しい体験をキリストと分かち合う」方法を紹介しますので、今まで紹介したことを理解したうえで、それを役立てていただければと思います。

(つづく)

第4回運営委員会議事録

2012年7月1日

司祭団より

司祭の夏休み

ボクダン師 7月8日～15日夏休み

ニコ師 8月1日～10日黙想会

アントニー師 9月9日～16日夏休み

9月2日～8日黙想会

8月26日～9月2日夏休み

8月12日～18日黙想会

納骨堂建設に向けたボーリング調査を行う。2社見積もりを取り、安い方で実施する。

報告事項

教会水道管水漏れ

資料をもとに説明があった。カトリック会館脇通路から水が溢れているのをボクダン神父様が見つけ、止水栓をとめた。排水管にクラックが入っていると思われたので、水道局と三機工業に依頼し、調査した。その結果、水道管が割れていることが判明した。このままにしておくことはできない。配管は古く、おそらく現在一般的に使われている配管とは違う材質のものが使われている。

7月2日からアスファルトをはがして中を確認する。材質を確かめた上で対応を定め、必要な処置をする。天候により工期は異なる

が、1～2日の見込み。それまで信者会館の水道はすべて止まる。皆様に知らせてご協力いただく。

典礼奉仕者会全体集会

名称が「典礼奉仕者の会」から「典礼奉仕者会」に改められた。

ヨセフ会の「ミサ当番」は「案内係」と称することになった。

6月17日(日)に実施された。

50名以上の方が出席された。

典礼奉仕者の手引き、典礼奉仕者内規、地震時の対応についての3点が話し合われた。

「典礼奉仕者の手引き」は今後、典礼委員会で整備していく。

7月典礼委員会で扱う見込み。

「典礼奉仕者内規」は今年度いっぱい使って作り上げていく。

地震時に先唱者がするアナウンスについて明らかにしていく。

14時半 8時 18時 のミサの献金かごの取り扱いについて再確認あり。後日 典礼委員会より文章にてお知らせがあります。

信者全体集会について

65名ほどの参加があった。事前資料通り順調に進行した。

納骨堂建設に向けての動きに強い関心があったが、ボクダン師の丁寧な説明により、納得された。

共同収蔵部への収蔵を希望する方の事前集会の希望があった。

6月分の営繕不具合処理について

資料が提示され、説明があった。

5月6日の信者会館塗装工事が大きなものであった。

今年度の大きな仕事として防水工事と前記の塗装工事があつたが、ともにしつかりできた。

審議事項

今年度バザーについて

バザー実行委員長の小池氏より

文書が示され、説明があった。

10月28日(日)開催。

7月8日(日)11時からマリア館

2階集会室2にてバザー実行委員会を開く。

副委員長がまだ決まっていない。

実行委員会で決めていく。

テーマの応募なし。運営委員に

テーマや出店希望の調査用紙が配布された。関係者は7月7日まで

に記入して提出する。バザー実行委員会の中で決めていく。

出店計画の届けがまだしつかり

回収できていない。昨年度と同様

になると思うが、今後8月中をめぐりに確認していく。

ポスターは中高生会に依頼する。

テーマを伝え、9月はじめまでに作成していただく。

アトラクションとしてインドネシアの踊りを取り入れることが案として出された。

宣司評「宣教奉仕賞」候補者推薦

先月に引き続き検討した。

今回は候補者の推薦は行わないこととした。

避難訓練

資料をもとに提案があった。

8月26日(日)9時半ミサ直後に

実施。避難方法の文書を聖書と典

礼に挟んでお知らせする。

実施の際の役割分担をした。

地震発生時先唱者案内文の検討

を行った。

車いすの方は香部屋を通って避難

する。訓練時に実際に車いすで

移動する方をお願いする。担架を

実際に使うことも試行する。

避難経路図に担架や車いす、大

工道具やスコップの位置を表示。

先唱者のアナウンスは、パニック

を起こさないことが重要。

南山教会所属の医師、看護師を

把握し、どのように動いていただ

けるか確認する会を検討する。

今後、緊急地震速報設置や情報

収集用ラジオの設置を検討する。

平和の祈りについて

例年通り8月6日8時、9日10

時45分に実施する。

6日はミサ、9日は聖体礼拝。

城東ブロックの行事として行う

ことを確認した。

敬老会について

9月16日(日)11時～マリア館

ホールにて実施。

案内発送の時期は、8月中旬。

75歳以上の対象人数287名。

料理準備等はマリア会で行う。

余興は、南山小の箏、教会学

校、中高生会に加え、名古屋弁や

昔の八事、杖中の紹介10分程度。

AED(自動体外式除細動器)設置

の検討について

見積もりや案内書に基づき設置

を検討した。

医師、看護師の会合を持つ際に

ご意見を伺うことになった。

その他

ストレッチャーのご寄付をいた

だけ。車いすと同じように聖堂

2階への階段下に設置する。

7月14日、15日カ障連大会の大

会についてポイスカウトは道路

案内のボランティアを行う。20名

が参加予定。10カ所で案内する。

各会報告

青年会

7月6日〜7日多治見に6名の司

教様を迎えて会合がある。南山教

会から青年3名が参加する。

子ども部屋

6月16日(土)10時30分〜会合を

もった。次回は、7月21日(土)10

時30分〜。8月はお休み。

聖霊幼稚園行事と重なることが

あり参加人数にバラつきがある。

お誕生月の子どもにプレゼント

する贈り物などがなくなってきた

しているので、8月のお休みに作成

して行く予定。

典礼委員会

6月10日 初聖体 典礼委員会

6月17日 典礼奉仕者全体集会

7月22日 典礼委員会

8月6日 平和の祈り

8月9日 8時 大聖堂 ミサ

8月9日 平和の祈り

10時45分 大聖堂 聖体礼拝

8月12日 聖母の被昇天祭

典礼委員会

8月15日 19時 聖母被昇天ミサ

毎週9時半ミサ閉祭の歌後のオ

ルガン演奏後、聖歌練習中。皆様

ご参加を。

英語ミサ

8月中の実施は現在検討中。

ポイスカウト

7月21日(土) 水泳訓練

(内海海水浴場)

当初予定から日程変更。

8月3日(金)〜8日(水)

東海三県大会 ポーイ隊

岐阜県日和田高原

岐阜県中津川市坂下町

8月11日(土)〜13日(月)舎営

高峰平別荘地(日本車両)

ビーバー隊・カブ隊

中学生会夏合宿

日程…8月21日(火)〜23日(木)

場所…多治見修道院研修センター

テーマ…自然との共生

参加費…3千円

申込用紙は事務所にある。

教会学校キャンプ

日程…8月17日(金)〜19日(日)

場所…国民宿舍清雲荘

参加費…5千円

奈良井宿(中山道)のマリア観音

を訪れる予定です。

次回運営委員会は9月2日

7月22日の各会紹介は教会学校

8月19日は典礼奉仕者会

スカウトバザー大成功だ!

伊藤 宗太郎

去る六月十日のスカウトバザー

は大盛況に終わった。スカウト活

動資金を確保し、さらには、信

者・近隣の方々との親睦を深める

ため、毎年行われる97団恒例の

行事だ。三ヶ月前から綿密に計画

をし、着々と準備して、バザー当

日は隊員達とその家族の方々が一

挙に全力を投入した。

梅雨入りし、天候が心配だった

が、当日は晴天でバザー日和。た

だ、その日は教会の初聖体の儀式

が重なり、人の出入りに影響する

かと懸念したが、多くのお客さん

にワンサと押しかけて頂いて大盛

況だった。お昼までに焼き鳥、焼

きソバ、みたらし、ロコモコ異国

料理、カレーなど模擬店食券は完

売。新品コーナーや掘り出し市、古着売り場では押すな押すなお客さんでスカウト達はテンテコ舞の対応だった。有難いことに今年は商品寄付が多くて、売り場は品物が豊富だった。

協賛して頂いた障害者団体のワッパンやピア名古屋のワインも売れ行きが上々で、パン類はスツカラカンに売れてしまった。最後に掘り出し市では半額セール、古着一着10円売り、一袋つめ放題100円の売り出しまでやった。

おかげさまでバザーの純利益は昨年を上回り38万余円であった。皆様のご理解とご協力に深く感謝!感謝!



南山句会

平成二十四年六月六日



山峡に聖地とまがふ水芭蕉
遠来の朋との語り夜の短

雨もまた得がたき風情額の花
喜びは言葉にすべしさくらんぼ

新緑や馬籠妻籠の峠越ゆ
チューリップ遥かに見ゆる音楽堂

花つつじ蜜を吸ひたる幼き日
一人居のシヨパン聴く夜や梅雨近し

人の世の天に金環聖五月
金環の結の解かるる沙羅の花

山吹の匂ひかそかに応接間
若人の一人走り来夏の蝶

修院のお告げの鐘や四葩咲く
アフリカを語る修女や薔薇赤し

洋子

牧子

瑞子

紀子

義子

とく子

せつ子

毎月第一水曜日午後一時半
マリア館二階集会室

信者の消息

転入

ようこそ

グレゴリオ 久野仁 (北広島) ^{まさし}
ヘレナ 嶋守和子 (東山教会)
ベルテック 高橋さやか (東山教会)
クララ 堀田ゆりか (東山教会)

転出

いつまでもお元気で

幼きイエズスのテレジア 堀田裕華 (浦上教会)

結婚

♡ お幸せに♡

使徒ヨハネ林 拓朗 ♡ 小野知香

帰天

ご冥福をお祈りいたします

テレジア 鳥飼文子 (82歳)
ヨハネ 木全英和 (57歳)
アガネス 丸山よし (86歳)

教会維持費

6月は1.571.647円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお祈りいたします。

2012年7月・8月度行事予定表

	教会典礼歴	南山教会行事	各会活動	教区行事・その他
7月			1(日)運営委員会 6(金)マリア会例会(懇談会) 8(日)ヨセフ会班長会 20(金)~22(日) ボーイスカウト水泳訓 21(土)10:30子ども部屋 22(日)典礼委員会 22(日)教会学校・中高生会終業式 28(土)要約筆記付きミサ	1(日)司教叙階・金銀祝 14(土)~15(日)障害者の集い 19(木)司祭協議会
8月	6(月)主の変容 15(水)聖母の被昇天	6(月)8時・平和の祈り 9(木)10時45分・平和の祈り 12(日)聖母被昇天祭(聖母行列) 26(日)避難訓練	3(金)~8(水)東海3県大会 11~13CS夏期合宿 12(日)典礼委員会 25(土)要約筆記付きミサ	1(水)~4(土) 侍者会(神言神学院) 4(土)~6(月) 中高生広島巡礼 6(月)~15(水) 平和旬間